に生まれ に出会いし者たちよ 奢れる者たちよ し者たちよ

永遠に祈り へる者たちよ りし朝は未だかなわず

に

百年に織 鳴呼願 わ くば二度糸を紡ぎて

りたる衣は当に引き裂かれんとす

りなく澄み わたる穹北の空に舞わ . W

朝させる 熟寝の夢の幸 けむる今ひとときの ・せよ

美は崩れゆく北都な n

覚めて現に見渡せば

天空常に雲抱けども は萌えて大地をまねく

> 荒れ野の 清いれっ 陽^ひは 彷まま い行ける寂しさに に明日を信じつつ の 野。 に 道をする 耕たがや

虚っっ (では映えて風を斬る) かぜ き かぜ き でいゆける時にこそ 傾きて我を見る

> 青紫 の 自代 忘るるなかれ大願たいがん 然は 降るや青春 蝕 ば きれ の寮庭が を

楡がは は枯れず空をさす 人とは と変われども

胸に秘め

Ù 浸えるいこん

を

奥田 新井 和 桂 人 君 君 作 作 歌 Ш